

テーマ 学校大好き、ふるさと大好き、都跡の子ども

目標 各校園の文化的行事を地域に開く。学校園の環境整備、美化に努める。PR 不足・人材の発掘や参加意欲の向上

今年度の取組紹介

- ・自治会主催の「都跡ふれあいまつり」の文化発表会の部は、園・小・中・高・公民館が協力して運営し、地域住民と子どもがふれあう最高の場です。文化発表・作品展示を継続するとともに今年度は、都跡中学校生徒会の生徒が文化交流部のスタッフとなり、お客さんの誘導、暗幕の開け閉め、せんとくんの係、司会、片付け等活躍しました。
- ・環境整備事業では例年通り園・小・中の環境整備を計画的に行いました。
- ・他校区協議会の取り組みを学ぶため、飛鳥中学校区との交流会を行いました。地域の教育力を高めるために、自治会と協働して子育て支援講演会、また、公民館長が毎回コーディネーター会議に参加し、公民館主催の「みあとキッズチャレンジ隊」などの子育て支援活動を自治会とともに協議会が協力しました。



〔ゴーヤの苗植え〕

今年度のまとめ

取組を、ホームページ・ちらし等で広報するとともに、地域教育協議会の取組のパネル掲示を、各校園、公民館、ふれあい会館に巡回展示しました。が、「地域教育協議会って何ですか?」「どんなことをしているんですか?」と聞かれる事があり様々な活動をしていても、知らない人が多いことにPR 不足を感じました。新たな人材の発掘や参加意欲の向上が課題となっています。

来年度に向けて

一点目として、「掲示板や回覧、配布物でPR」を行います。自治会掲示板、回覧、公民館、ふれあい会館などを利用し、広く地域住民に呼びかける新たな企画として、協議会だよりやボランティア募集などのパンフレットの作成をし、年度末に発行している広報紙とあわせて、内容や紙面の工夫について検討していきます。二点目として「年度初めに新役員へPR」を行います。これまで年度末に「報告交流会」を実施してきましたが、実際に協力していただいたボランティアや協議会メンバーのみの参加になってきました。今後はそれに加え、コーディネーターが各種団体の年度初めの会議に出向き、まずは協議会の取り組みを知ってもらう機会を設けたいと考えています。PR するには、パワーポイントをただ見せるだけでなく、伝える相手に響くようなメッセージや映像の工夫も必要だと思われます。

テーマ**見つけよう地域の宝物、つながろう地域の人
～ふるさとを大切にする～****目標****地域で育つ中学生として、地域の一員としての役割を担える
子どもの育成を目ざす。**

今年度の取組紹介

28年度都跡ふれあいまつりでは、本校生徒が文化交流部のスタッフとして、当日の司会、案内、カーテン開け閉め、片付け等の仕事を行いました。都跡地区防災訓練では一昨年度学校防災力強化プロジェクトに参加して東北の被災された学校区に学んだことや本校での取組のパネルを展示し、地域の方々に見ていただきました。また本校生徒会本部役員が都跡小学校に出向き、6年生に対して防災についての授業をしました。

環境整備事業については、地域の方々が生徒と協働できる部分について共に活動しました。

吹奏楽部の取組として、ふれあいコンサートや都跡ふれあいまつり都跡ライブなど地域の方を招いて演奏をしました。性教育講演会、マナー講習会、尺八講習会、職業人に学ぶ会等々地域の方々に御協力をいただいていた取組をしました。



〔ふれあいまつり〕

今年度のまとめ

コーディネーターを中心としたボランティアの数々の取組、(ゴーヤのグリーンカーテンづくり、パンジー・マリーゴールド・葉ボタン等の園芸、夏の校内美化作業や季節ごとの図書室の飾り付けなど)が展開されているが、これらの取組を継続するとともに、学校・生徒とボランティアの連携を進め、地域ができる支援と学校が必要としている支援をよりリンクさせることが今後の課題です。

また、実際にボランティア活動に参加いただける方を増やし、地域の教育力の再生につなげることが課題であったが、地域で育つ中学生として、地域の一員としての役割を担える子どもの育成が新しい課題だと思います。

来年度に向けて

今後も主体的に地域に貢献していける子どもの育成を重点取組とします。地域の方々に何かしてもらうだけではなく、自分たちには何ができるかを考えさせていくことに取組んでいきたい。また、小中一貫教育を継続し、より充実させていきたいです。

テーマ

都跡で暮らし 都跡を学び 都跡を誇れる児童の育成

目標

都跡を理解し、都跡を愛する児童の心を育てる

今年度の取組紹介

○ 地域懇談会

管理職だけが地域との窓口になるのではなく、他の教職員と地域の方々との距離感を縮め、地域の方に教職員のことを知っていただくために「地域懇談会」を開催しています。「地域懇談会」では、小グループに分かれて懇談し、全教職員が地域の方々と親睦を深めることができます。

また、今年度も校務分掌の中に「地域教育推進部」を設け、8名の教員を配置しました。「地域教育推進部」の担当者は運営委員会への参加や「地域懇談会」の企画、運営を行うことにより、学校と地域とのパイプ役として「学校の垣根」を低くする役割を果たしてくれています。



地域懇談会

○ みあとありがとうフェスタ

栽培体験活動や昔の遊び・昔の暮らし体験学習、そして日々の見守り支援など、様々な場面でお世話になっている地域の方々に感謝の気持ちを込めて、全校で「みあとありがとうフェスタ」を開催しました。当日は、各学年と全校による合奏・合唱を聴いていただきました。



みあとありがとうフェスタ

今年度のまとめ

- 地域の方々は、「子どものためなら」とか「子どもと一緒にいると元気をもらえる」と考え様々な場面で学校に協力してくださっています。教職員や児童は、学校行事を通してこのような地域の方々の温かい気持ちに実際に触れることで、地域の方々の思いを知ることができたと思います。地域の方々と子どもたちが一緒に活動する場面を増やしたり、教職員が打合せや学校行事を通して地域の方々と知り合ったりすることで、「地域とともにある学校」として、学校と地域がともに子どもたちを育てていく大きな一歩になったと考えます。

来年度に向けて

- 今年度も児童から地域の方々が見える。教職員から地域の方々が見える。そんな関係づくりを進めることができました。来年度以降もこの歩みをより確かなものにするために、地域の方々と児童・教職員が触れ合う場面を確立・拡大していきたいと考えています。

テーマ

みんなで遊びを創る笑顔があふれるこども園

目標

子どもたちの心が動くような活動を計画し、「笑顔があふれるこども園」として地域の方や保護者の協力を得て園の環境づくりや絵本の読み聞かせ等、子どもたちにとって豊かな経験ができるようにする。

今年度の取組紹介

○地域の方の『お話の会』や保護者による『ママの絵本』

地域の方に園に来ていただき、月1回お話の会で絵本の読み聞かせをしていただきました。園にある絵本も活用していただけるように紹介したり、どんな絵本がいいか相談したりしながら新しい絵本を購入したことで、子どもたちはよりお話に興味を持ち、絵本の大好きな子どもたちに育ちました。また、地域の方だけでなく、保護者も月に2回子どもたちに絵本の読み聞かせをしてくださり、保育者だけでなく地域の方、保護者にも読み聞かせをしていただく期待となり、絵本を通してたくさんの方とかかわりを持つことができました。



○栽培活動

1年を通して地域の方と共に野菜や花の栽培活動に取り組みました。畑で育てたトマトがたくさん収穫できたので、給食に使ってもらい、地域の方を園にお招きし、一緒にリリコパーティー（リリコという品種のトマト）をしました。地域の方と一緒に育て、収穫し、食する喜びを感じることができ、地域の方とのつながりも深まりました。他にもサツマイモ、大根、玉ねぎなども栽培し、水やり、草引き、施肥などの世話をすることも教えていただき、生長の様子にも興味を持つことができました。畑の畝づくりや世話の仕方など、地域の方に詳しく教えていただくことで子どもたちも保育者もより関心を持って栽培活動に取り組むことができました。



今年度のまとめ

- 今年度は地域の方と共に栽培活動、絵本の読み聞かせ活動、園内環境整備に重点的に取り組みました。子どもたちはたくさんの方とふれあいながら様々な体験、経験をすることができました。子どもたちはいつも地域の方が温かく見守ってくださっていることを実感することができ、また、地域の方からは子どもたちの様子を見ていただくことができ、1年の成長を感じてもらう良い機会となりました。

来年度に向けて

- 地域の方の協力を得ながら、子どもたちにとって豊かな経験となるような活動を今後もたくさん計画していきたいです。来年度も地域・園・保護者が『みんなで遊びを創る笑顔があふれるこども園』を目指し、連携を深めながら日々の教育・保育に取り組んでいきたいと思います。